

第4回桜ケア運営推進会議 議事録

複合型サービス桜ケア西線6条

管理者 加藤 寛子

1. 日時 平成26年5月27日(火) 16:00～

2. 場所 桜ケア2F リビング

3. 出席者

中央区第一地域包括支援センター 西牧 様 大河原 様

町内会会長 佐藤 様

利用者様ご家族 小沢 様

㈱さくら生活サポート 代表取締役 中井 朗友

桜ケア西線6条 管理者 加藤 寛子

サービス付き高齢者向け住宅花らいふ 管理者 川岸 英治

議題

1) について～5/27現在の利用状況は、登録者14名です。(登録定員24名)

要介護1	8名	男5女3
要介護2	3名	男2女1
要介護3	1名	女1
要介護4	1名	女1
要介護5	1名	女1

◎職員の配置人数～介護職員 10名 看護職員 5名

通いと訪問の利用者様に対して、5名から6名の介護・看護職員が日中おります。

夜間、20時から朝7時まで介護職員1名が夜勤をしております。

(夜勤者は16時～朝10時勤務)

5月から、22時より、宿直職員が泊まり、何かあった場合

の対応に備えております。夜間は主に夜勤者が仕事をしますが、緊急事態に対応できるよう

宿直職員を配置し、体制を変更しております。

2) については、下記の予定通りで、4/30実施の研修資料も参考までに見てください。

月に1回の勉強会で、職員も頑張って知識の向上をしていこうと思っています。

昨年度実施の職員研修について

- ・介護施設におけるリスクマネジメント
- ・介護施設におけるコンプライアンス
- ・認知症介護実践者研修

- ・その他、各事業所にて研修を行っています。

平成26年度予定の桜ケア職員研修について

対人援助・接遇・コミュニケーション4/30実施

複合型サービスの制度について 5/28実施予定

認知症の理解①

精神疾患について

介護技術研修①

ケアマネジメントについて

感染症予防

認知症の理解②

医療分野について（服薬、バイタルサイン）

ケアプラン作成研修

介護技術研修②

高齢者虐待、身体拘束防止について

その他、上記計画以外の、法人全体研修、外部研修等の参加も随時行っていく。

3) 別紙写真等を見ながら、説明。行事等は、皆さんとても楽しんで参加されています。

今後も季節の行事等行っていく予定です。外出の行事も継続中です。

外出も、利用者様にご希望を聞き、花見の方、お買い物の方等、それぞれに対応。

一度に、たくさんでは無く、1名か2名の外出です。（職員 運転手1名 介護職員1名）

事故報告

3月 ・内服忘れ、昼食後薬を飲み終わっていると思いこんで、そのまま夕方になってしまった。看護師の互いの思い込みで、確認ミス。

4月 ・訪問介護時、別の職員の来訪ベルで利用者様が立ち上がり、足の力抜け転倒
・訪問介護中、トイレ誘導時、トイレから立ち上がろうとして、座り込んでしまった。

※3月の薬の事故は、複数の看護師が、互いに相手が内服を済ませたと思いこんだミスで、最後に、薬の個別ケースを確認すれば、問題なく内服できたはずなので、薬のケース確認（飲み忘れ、飲み残しが無いか）を徹底していくよう、対策をとっております。

※4月の事故は、いずれも、職員の観察力や見守りが不十分な所があるので、危険を察知出来るよう、目を離さないように対応していかなければならないと思います。

4) 5月13日、避難訓練を行いました。消防の方にご指導を頂きながら、訓練を行いました。

消火の仕方、消火器の使用方法（実際に体験）、火が天井まで登っていたら、消火器では消すことは不可能なので、避難優先してくださいとの事。

参加人数 入居者様（利用者様）5名 職員6名

次回、秋頃、避難訓練実施予定です。町内会の方の参加もお願い出来たらと思っています。

5) 質疑応答

- ・中央区第一地域包括支援センター西牧様～

薬はどのように管理して、どうやって飲ませているか？との質問がありました。

一人一人、個別の薬ケースに入れてセットしておき、食後1つのケースを持って、利用者様の前に行き、名前、日付、朝昼夕の確認を声を出し行っています。処置版のチェックも通常は行います。全員が終わった後、薬ケースの確認を忘れず行います。

事故の際は、この確認が看護師同士抜けていたので、徹底して行っています。

- ・町内会長の佐藤様～

避難訓練は、2階に利用してきている方は、職員もいて逃げられるけど、上に住んでる人の避難がどのように行かかを、きちんと考えないと、ほんとに避難となると、上も下もぐちゃぐちゃになるのではないだろうか？火を出さないというのが大事だが…とのお話がありました。

実際、訓練では、利用者様が外階段を降りるのも難しく、踊り場で待機という形でした。とにかく、避難の際は、非常口から外に出るという事。踊り場で待機し、消防隊の救助を待つ。8階まであるので、通常のマニュアルでは無く、花らいふ桜ケアの避難マニュアルの作成をしていきたいと思います。

皆、高齢になると、高齢者の住宅やお金の事など気にしているので、介護の施設や事業所に興味、関心があるようで、話題になります。との事

最後に

・管理者加藤～皆様お忙しい中、本日は運営推進会議にご参加頂きありがとうございます。
最近の桜ケアは、14名の利用者様のうち、曜日によっては、12名通いの日もあり、定員いっぱいという時もあります。普段は大体、7～8名の通いご利用です。体操やレクもその日その日で様々な事を行っており、壁の飾りやカレンダーは、職員が材料を用意すると、利用者様があっという間に作って下さいます。(なかなか途中でやめられないようです)おやつレク等もおこなっていて、ホットケーキ等は、利用者様が上手に焼いて下さったりします。桜ケアデイルームの出入り口にフルーツの切り絵を貼り、フルーツ街道を作っています。それも利用者様が切ったり、貼ったりして下さって、皆さんにいろんな形で参加頂いています。

次回の避難訓練の際、町内会の方にも参加頂いて、非常階段で待っている方の誘導や、駐車場で集まっている方の見守り等をして頂けたらと思います。

7月か8月になったら、夏祭りのような行事も行えたらと思っていますので、ご家族様にも参加頂けたらと思います。

次回の運営推進会議は、5月になります。毎回、奇数月で行う予定ですので、又近くなったら、ご案内をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。